



協同組合人育成のための現場の取り組み

- 組合員訪問日の実施(毎月26日組合員全戸訪問)
- 春・秋組合員座談会の開催(各84会場)
- 総会の開催(総代会ではない)
- 国際協同組合デーの実施(イベント、学習会)
- 組合員教育事業の実施
(組合員基礎講座、組合員講座(1年)、専修講座(2年)、海外農業事情視察研修、
夏・冬休み子ども村 etc)
- 業務を通じての地域貢献活動
- 積極的な地域内職員採用と地域ボランティア活動奨励
etc

JAFAAO, Japan Agricultural Co-operatives



JAFAAO, Japan Agricultural Co-operatives



HADANO Japan Agricultural Co-operatives

組合員訪問日

- 職員で取り組む「組合員訪問日」は、毎月26日に機関紙「JAはだの」を発行し、情報伝達するとともに、担当エリアを定め組合員宅を訪問する対話活動は、職員教育の場となっています。
- 組合員との直接対話により、多様な層からの意見・要望を聞きJA運営に意思反映するとともに、意識形成との有機的な連携強化をはかっています。
- また、組合員によって、JA職員の育成をしていただく意味あいも込めて実施している。

HADANO Japan Agricultural Co-operatives

訪問日終了後、支所単位で職員検討会を開催



HAWAIIAN Japan Agricultural Co-operatives

毎年実施する春・秋組合員座談会



HAWAIIAN Japan Agricultural Co-operatives



春・秋組合員座談会

- 組合員の生活様式の変化やニーズの高度化・多様化を踏まえて組合員の意思を日常的に反映するため、春と秋に組合員座談会を開催しています。
- これは、常勤役員や部長がリーダーとなり支所長、課長、係長、一般職員2～3名を含む1班5～6人の班を8班で構成し、延べ10日間市内会場で夜間開催します。

HAJANO Japan Agricultural Co-operatives

職員による座談会検討会を支所単位で実施



HAJANO Japan Agricultural Co-operatives

座談会・職員対応と意見要望検討フロー

全職員が訪問日担当地区会場に出席

苦情対応

会場において職員2名(本所1名、支所1名)が書記を行い翌朝所属長へ報告

支所単位で職員検討会を開催

本所担当課へMailで報告

支所長会議で検討

代表理事組合長まで報告

理事・担当部会(3部会)で検討

「機関紙」座談会報告号で
組合員へフィードバック

理事会で協議

UADANO Japan Agricultural Co-operatives

第44回 秦野市農業協同組合通常総会



UADANO Japan Agricultural Co-operatives

J A 運営に参画を 秋の座談会にご参加ください

●市内84会場で午後7時から開催●

9月29日(火)

10月15日(木)

組合員の意見・要望をJAの運営に一。組合員参加による協同組合運動を高めようと、秋の座談会を9月29日(火)から10月15日(木)まで市内84会場で開きます。

2009年度の上半期の事業報告や改正農地法への対応、地域の実態に沿った情報などについて話し合います。

また、日ごろJAについて疑問に思っていることや、ご意見・ご要望などをこの機会にお聞かせください。組合員の皆さんのご参加をお待ちしています。



発行所
秦野市
農業協同組合
(神奈川支店)

〒257-0015
秦野市平沢477
TEL.0463-81-7711(代)
編集責任者 山口 義雄
印刷所 富士オフセット

上半期の軌跡

3月

●JAはだの創立45周年を記念して、本所に「協同の泉」を設置。また、秦野の発展に貢献してきた先人たちの努力と情熱を後世に伝えようと、同敷地内に「秦野農業育頭の石碑」を建立しました。

●出全国農協観光協会と連携して、観光農業モニターツアーを実施しました。市外や県外からツアー参加者を受け入れ、今後の観光農業振興に向けた情報収集を行いました。(=写真)

●じばさん元気いっぱい生産者大会を本所で開きました。生産者同士の情報交換や生産意欲の向上が目的で、生産者154人が参加しました。



4月

●食農教育の一環として、市内全13小学校に「JAバンク食農教育店事業・小学生向け補助教材」を贈呈。小学生に農業や食の大切さを紹介しました。

●秦野市園芸協会主催の「春まつり」を開催。野菜種や花苗を求める地域住民など約1万1,000人の来場者でにぎわいました。(=写真)

●春の座談会を市内84会場で開催しました。組合員1,388人が出席し、672件の意見・要望が寄せられました。



5月

●第48回通常総会を文化会館大ホールで開催。多くの組合員が出席し、意見や要望が出され、JAに対する関心や期待の高さがうかがえました。(=写真)

●2009年度の協同組合講座がスタート。協同組合運動の活性化や次世代を担うリーダーの育成を目的に、組合員基礎講座、組合員講座、専修講座の3コースを用意。140人が受講しています。

●秦野商工会議所とともに「秦野市農商工連携による活力ある地域づくり連絡協議会」を開催。新築名の建設に伴うサービスエリア(SA)への販売施設設置と本町支所周辺地区開発整備について話し合いました。



6月

●代表生産組合長や組織代表者出席のもと、「JA全国大会の議案づくりに向けた組織協議」を行いました。10月に開催される「第25回JA全国大会」に提案される議案について協議したものです。

●秦野市農業経営士会が設立30周年を迎え、本所敷地内に記念植樹を行いました。(=写真) 経営士会の30周年を記念するとともに、来春、秦野市を式典会場に開催される「第61回全国植樹祭」への搬運を高めました。

●新築名建設工事に関する補償などの要求申し入れを、㈱日本高速道路東京支社秦野工事事務所で行いました。組合員の用地補償や移転補償など48項目を要求しました。



7月

●国産協同組合デー記念講演会を本所で開きました。「協同」の意義を再確認し、運動の一層の前進をはかろうとJA役職員、森林組合、生協関係者ら123人が出席しました。

●農政対策委員会を本所で開催し、2010年度の市内の農業について、施策や予算要望、地域振興に向けた取り組みについて検討しました。



●JAの次世代対策事業の一環として、第13回夏休み子ども村を長野県飯山市で実施しました。今年は、参加児童の増加から初めて2班編成で行い、子どもたち179人が大自然の中で、農業体験やマスコット体験などをしました。(=写真)

8月

●JAはだの創立記念式を本所で開きました。組合員や役員など184人が出席し、JAはだの歴史を再確認するとともに、今後の発展を誓い合いました。

●夏まつりを本所で開催しました。組合員や地域住民など約2,800人がJAに集い、地域が一体となって夏の1日を満喫しました。

●食農教育の一環として、東中学校3年生が学校農園で栽培した農産物の即売会を本所で開きました。栽培だけでなく、価格設定や販売を体験することで、農業への理解を深めてもらうことが目的です。(=写真)





総会の開催

- JA運営は、多くの組合員が参加してくれることに意味がある。准組合員（正3：准7）の増加により総代会制への移行は仕方ない情勢がありますが、准組合員の参加を閉ざす結果となることから、可能な限り総会を開催していきます。

JA/DA/NO Japan Agricultural Co-operatives



JA/DA/NO Japan Agricultural Co-operatives



LEADING Japan Agricultural Co-operatives



国際協同組合デー

■ 第86回国際協同組合デー

世界の協同組合に携わる人々が、平和とより良い生活をめざして協同組合運動の前進を誓い合う「国際協同組合デー」は、毎年7月の第一土曜日と定められており、今年は7月5日でした。

JAはだのは、7月4日三重大学院石田正昭教授により「地域活性化とJAの役割」と題して、役職員研修会を開催した。

LEADING Japan Agricultural Co-operatives



組合員教育事業



HADANO Japan Agricultural Co-operatives



HADANO Japan Agricultural Co-operatives

1. 組合員主体の JA づくりの実践について

(1) 総 会 第 46 回通常総会（全員総会）

(2) 座談会 春と秋に 12 日間 84 会場・午後 7 時開催 対象・組合員及び家族

- ・春の座談会 参加組合員 1,388 人 意見要望 672 件

- ・秋の座談会 参加組合員 1,369 人 意見要望 621 件

- ＊2007 年秋の座談会から准組合員のみの会場を設定

- ・開催前 座談会特集号配布（活動報告等）

- ・開催後 座談会報告号配布（意見要望と回答）

- ・職員による座談会検討会開催で意見要望・課題等の共有化

(3) 組合員訪問日 毎月 26 日に組合員宅全戸訪問

- ・機関紙「JA はだの」、通知等配布

- ・意見要望の把握

- ・職員一人当（平均） 訪問軒数 59 軒 訪問時間 8：30～12：30

- ・職員による反省会開催で意見要望・課題等の共有化

(4) 新組合員の集い 各支所毎に開催 7 支所計 117 人参加

2. 教育文化活動の取り組み

(1) 組合員教育事業

- ①講座の開催
- ・組合員基礎講座 31 人 (1 年間 8 回)
 - ・組合員講座 66 人 (1 年間 8 回)
 - ・専修講座 43 人 (2 年間 16 回)
 - ＊韓国カルチャー講座 29 人 (半年間 5 回)

②第 17 回文化講演会 北原照久氏 組合員及び市民 450 人参加

- ③その他講演会
- ・第 87 回国際協同組合デー記念講演会 全中 山田 馥 氏
 - ・JA はだの創立記念式講演会 岡山大大学院 小松泰信 教授

④教育資材の活用

家の光 2,005 部、地上 24 部、ちゃぐりん 104 部、日本農業新聞 530 部

(2) 広報活動

①機関紙「JA はだの」発行、春と秋に座談会特集号・報告号発行

②JA はだのコミュニティー紙発行

ア) 年 3 回 1 回 60,000 部発行 三大紙等新聞折り込みで市内全戸配布

イ) 年 9 回 地域情報紙 (8 面) 1 面に JA はだののページを掲載

③携帯電話電子メール 464 人

(3) 催し物を通して農業・農協を理解し知ってもらう活動

①夏休みこども村 (小学 3～6 年生対象) …… 2 班 179 名参加

②冬休みこども村 (小学 3～6 年生対象) …… 77 名参加 (2008 年度)

③学校農園 (市内の小学校 13、中学校 4) …… 野菜苗・資材提供と販売体験

④ちゃぐりんスクール (小学 3～6 年生対象 7 回開催中) …… 受講者 62 人

⑤書道・図画・作文コンクール (出展数 1,122 点) …… 各クラス 1 点出品

⑥さわやか農園 (特定農地貸付事業) …… 298 区画 (1 区画 100 m²)

生産組合活動活性化支援体制について

中期経営計画では、生産組合がJAの基礎組織として位置付けを明確にするとともに、地域に応じた活動内容の具体化が求められています。これらの実現には、生産組合活動活性化に対する支援体制を整備した上で、活動への取り組みが必要と考えられます。

生産組合長との連絡協調を図るため、支所職員による生産組合の担当制を実施し、活動活性化に向けた支援体制を整えました。お気軽にご相談下さい。

1. 生産組合活動活性化について補佐をする担当者は別表のとおりです。統括は次長とします。
2. 担当者は生産組合活動活性化に向けた企画・連絡等の補佐を担当します。
 - ① 生産組合活動報告、総会開催等の補佐
 - ② 支所まつり、座談会等への新組合員参加誘導
 - ③ 生産組合の年間活動計画の企画、実施の補佐(年間活動計画例・・・営農座談会、視察研修、農地保全対策、現地検討会等)

生産組合の自主的な協同活動の一助として、これまでの視察研修会助成に加え新たにふたつの助成基準を設けました。これらの助成を活用することをきっかけに、地域の生産組合員の皆様が集い、農業振興と地域の活性化を図って頂きますようお願い申し上げます。

2009年度生産組合活動活性化助成基準

助成基準設定日2009年3月16日

生産組合活動の活性化を図るため次のとおり助成基準を定める。

(1) 視察研修会等助成基準

- ①生産組合単位の実施を原則とするが大字までの参加も可とする。
- ②各生産組合単位で日時、視察コースを定め、参加者をとりまとめ実施する。
- ③助成額 ア) 25名以上35名未満 20,000円
 イ) 35名以上 30,000円
 - * 合同開催は参加生産組合合わせて1回とみなす。
 - * 1生産組合年1回とする。
- ④視察研修先は農業関連施設とし、事前承認によりJA旅行センターを使用することを条件とする。

(2) 生産組合総会等開催助成基準

組合員増加に伴い、多くの組合員にとって一層参加しやすい生産組合活動となるよう、総会等を開催した場合は助成する。

- ① 事前に支所・支店へ開催日時、場所、参加予定人数の報告
- ② 開催後、収支と活動について報告書及び計画書の提出(写)
- ③ 助成額 3,000円
 - * 合同開催は参加生産組合合わせて1回とみなす。
- ④ 1生産組合年1回とする

(3) 健康教室助成基準

健康への認識を深め、地域で安心して健やかに暮すために、生産組合を中心に健康教室を開催する。

①開催方法

各生産組合は日時・内容を調整のうえ参加者をとりまとめ実施する。

・2009年度計画

- ア) 開催時期 5月～12月（8月を除く）・・毎月1回開催可能
1月～ 3月・・・・・・毎月3回まで開催可能
- イ) 開催時間 原則として午後1時30分より開催
- ウ) 講 師 JA神奈川県厚生連 保健師
- エ) 内 容 メニュー方式で選択、又は相談のうえ決定する
- オ) 講 師 料 10,500円はJAはだのが負担する

②参加人員 原則として15名以上

*生産組合単位の開催を原則とするが大字までの開催も可

③助成額 3,000円

*合同開催は参加生産組合合わせて1回とみなす。

④その他 1生産組合年1回とする。

健康教室テーマ

(JA神奈川県厚生連 保健福祉センター巡回健診事業課)

No	テーマ	備考
1	負けないからだづくり ～メタボリックシンドロームについて～	パワーポイント使用
2	負けないからだづくり ～骨格貯筋について～	パワーポイント使用
3	健診を上手に生かして健康を守りましょう	自身の健診データ
4	高齢者の健康管理について	
5	あなたの腰・膝・元気ですか	
6	あたまとからだの柔軟体操	
7	健康管理について	
8	健康づくりのための運動を習慣に	
9	女性の健康で今知っておきたいこと	
10	Let's 筋力トレーニング	
11	生活習慣病について	
12	認知症は防げます	
13	暮らしに運動を取り入れましょう	
14	健脳生活しませんか？若さを保ってイキイキライフ	

モデル生産組合の設定について

生産組合活動活性化を図るために3生産組合の協力を得て、モデル生産組合を設定致しました。以下のとおり活動内容を紹介して頂きましたので、各生産組合においても参考にされ、活動活性化に向けた取り組みをお願いします。

(1) モデル生産組合

①鶴巻中部生産組合（都市部）

准組合員の割合が多く、配布物においては協力員を設け配布しているが協力員の引き受け手を探すのに苦慮している。活動も正組合員中心の活動が多く12月の忘年会には協力員合同で行うが参加者も少ない。

今後、生産組合の活動に准組合員が参加できるような企画を実施していきたい。現在、健康教室の開催を、生産組合長と検討中。

・組合員数263名（世帯数218戸）「正組合員52名・准組合員211名」

*年間活動内容

月	活動内容
5月	J A総会後組合員で反省会（正組合員）
7月	生産組合活性化県外視察
9月	生産組合親睦会（一泊）
10月	米出荷慰労会
11月	生産組合視察研修日帰り
12月	生産組合内部役員・協力員合同研修会（忘年会）
1月	生産組合新年会（一泊）
3月	新旧役員引継ぎ

②上大槻生産組合（中間地帯）

お花見会・芋煮会・新年会等に准組合員も参加している。また、トラクター・コンバイン・田植え機を共同で所有し、共同利用している。年2回の座談会には、女性も多く参加している。

・組合員数 76 名（世帯数 59 戸）「正組合員 29 名・准組合員 47 名」

＊年間活動内容

月	活動内容
4 月	お花見会、座談会
5 月	役員会、せぎあげ、苗ふせ、草刈り
7 月	水稻消毒
9 月	草刈り、生産組合視察研修旅行
10 月	座談会、米出荷
11 月	芋煮会
1 月	生産組合新年会
2 月	生産組合旅行
3 月	機械整備講習会

③峠生産組合（農村部）

正組合員割合が高く、地形的に集落が囲まれているので、まとまりがある。今年 4 月頃よりイノシシ等の獣の出没やカタツムリの異常発生に伴い生産組合で対策会議・研修会開催等対応が早い。営農組合との連携がとれている。（ソラマメ出荷組合等それぞれ出来ている。組合長もそれぞれ別の人）

・組合員数 53 名（世帯数 35 戸）「正組合員 49 名・准組合員 4 名」

＊年間活動内容

月	活動内容
4 月	総会
適宜	活動活性化視察
適宜	農道整備
適宜	農道草刈
適宜	営農座談会

（2）今後の予定

生産組合役員研修会等で事例紹介

J A の基本活動徹底 !

充実した組合員訪問日にするために

組合員訪問日は今年で41年目を迎えました。機関紙J Aはだのや通知を配布すると同時にコミュニケーションを深め、J Aと組合員を結ぶパイプとして、組合員の生の声をJ A運営に反映させるものです。

もし訪問日がなかったら、職員が1年に1度も訪問しない組合員宅も相当数あるのではないのでしょうか。1万軒近い組合員宅を毎月訪問し声をかけることは、J Aの重要な基本活動です。

1. 組合員訪問日の基本目標

3つの基本目標は昭和57年8月、組合員の意見を反映したJ Aの民主的運営を図るために定められました。

①お互いに知り合おう

組合員が何を知りたいかを把握し、機関紙J Aはだのや通知で知らせることはJ Aとしての義務です。また、職員からJ Aの活動を知ることは組合員の権利です。

②お互いに学び合おう

組合員の質問や疑問には誠意を持って対応しましょう。また、組合員から学ぶ姿勢も大切です。相互理解を深めることで信頼関係を築き、学び合うことが大切です。

③お互いに助け合おう

J Aは相互扶助の組織です。生産組合や女性部の役員は労力がいるものですが、職員が支援することにより軽減されるかもしれません。請負型の運営になることなくJ Aの事業活動を理解して頂き、協力し合うことも大切な目的です。

2. 組合員訪問日を通じての職員教育

協同組合運動は教育に始まって教育に終わると言われます。組合員訪問日は、職員教育の実践の場として大切な機会です。いつも「組合員にとって」という言葉を念頭においた対応が必要です。

参考 2009年2月4日発行 日本農業新聞より抜粋

早稲田大学大学院教授 遠藤 功

鍵は「愚直な継続だ」。すぐに結果が出なくてもあきらめずに続けることが重要です。神奈川県ＪＡはだのは毎月２６日を訪問日に設定し、ＪＡだよりを持って組合員宅を訪問する協同組合としての基本活動の徹底に取り組んでいます。これを愚直に続けた結果、職場には組合員と共に生きるというＤＮＡが育まれています。協同組合に生きる先人の信念・哲学に支えられています。

組合員訪問日の目的を再確認し話し合しましょう

検討会テーマ 「充実した組合員訪問日にするためには」

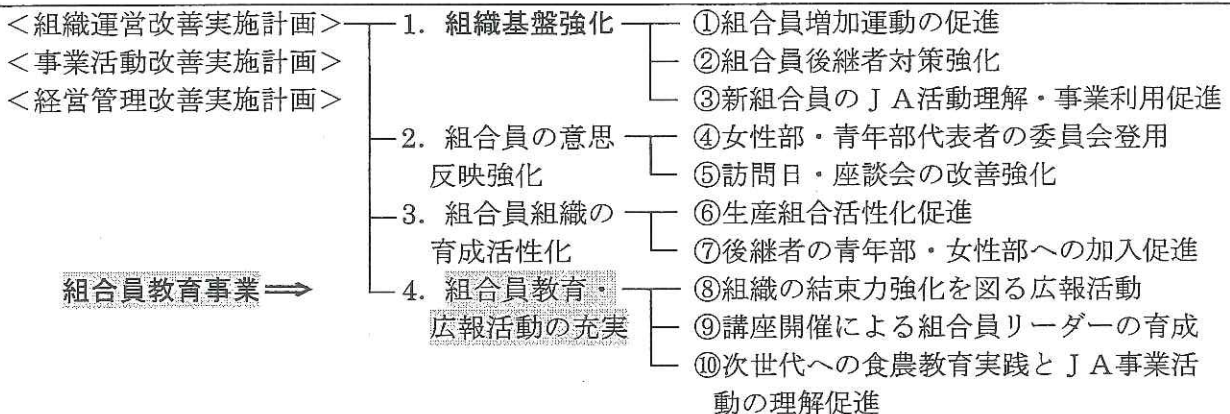
JAはだの「組合員教育事業」

- ＜特徴＞ ①教育広報活動と生活文化活動を明確に読み取れる形で位置づけしています。
- ②組合員教育を一つの事業として、予(決)算上も独立した科目としています。
- ③実施計画を具体化しています。

位置づけ

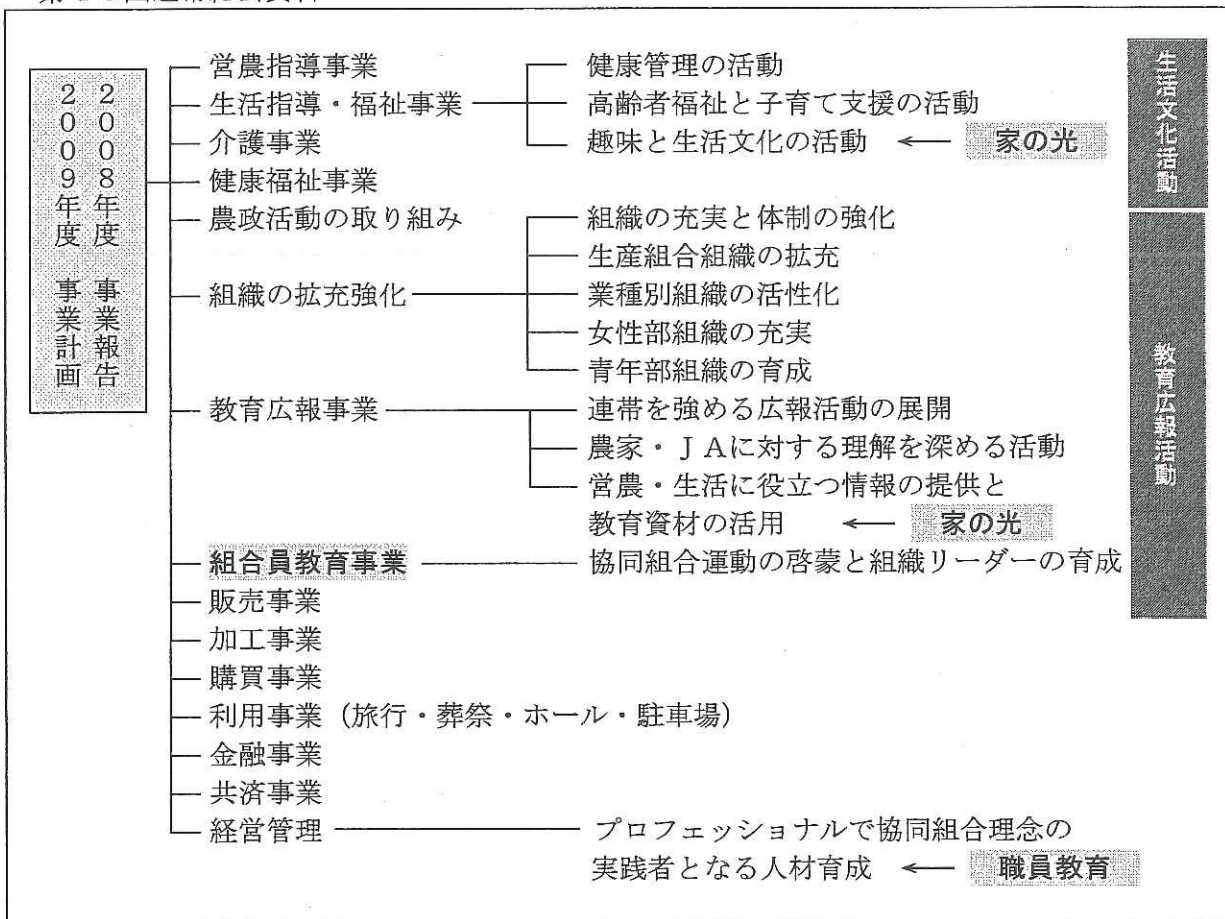
◆ 中期計画

『共生・参画21』JAはだの3か年プラン（2009年度～2011年度）

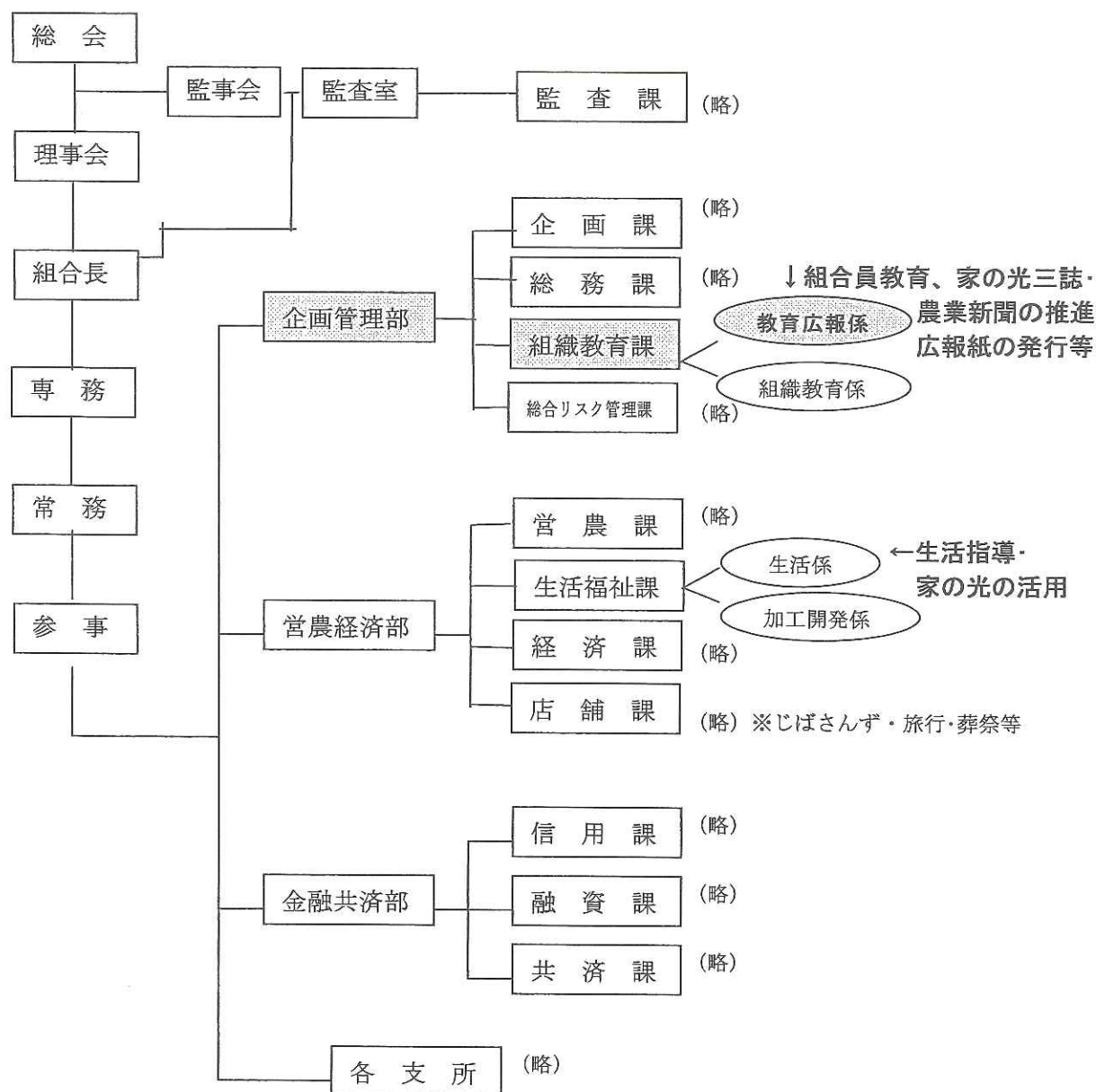


◆ 単年度計画

第46回通常総会資料



◆ 機 構 図 (抜粋)



○中期計画では、＜JA 組織運営＞の課題に「組織の充実」を設定し、実践事項として組合員教育を位置づけています。

○単年度計画では、「組合員教育事業」で一つの項目とする。『家の光』等教育資材は、教育広報事業で推進を担当し、生活指導事業で活用を徹底しています。

○上記にともない、次ページ以下の予算のとおり、教育資材による収入は教育広報事業で活用し、なおかつ、組合員教育事業自体は基金の運用益に基づいて展開しています。(収入をとまなわな
い事業としています。)

◆ 海外農業事情視察研修会

海外研修は書道・図画の作品交換交流や、協同組合組織のある中華人民共和国、台湾、韓国、タイ国、ベトナムの中から中国、台湾、タイ国を交互に年2か国と視察交流をおこなっています。

- ①目的 国際的視野に立った組合員の養成を図ることを目的とする。
- ②対象者 原則として協同組合講座修了者とし、極力将来の協同組合活動の担い手となるような若い組合員（家族含む）とする。
- ③募集人員 1回につき15人程度
- ④参加費用 概ね研修費の20%が個人負担
- ⑤研修期間 4日～5日間
- ⑥視察国等

- ・ 中華人民共和国・・・青島及び北京合作社
- ・ 台 湾・・・台中県梧棲鎮農会及び台湾省農会
- ・ 韓 国・・・知道農協（1999年5月に姉妹提携）
韓国農協中央会坡州市支部（2008年12月に友好提携）
- ・ タイ国・・・GPD（協同組合省振興局）
ペップリ県のバンラード農協及びワット・ノンケイ学校と
カオヨイ農協及びノン・プロン学校

○ 2009年度 タイ国 参加者15人 / 台湾参加者14人

※ これまでの延べ参加者は381人（内、女性154人）となりました。

項 目	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
講 座 開 設 費	948	1,214	954	1,108
外 部 研 修 参 加 費	37	57	169	73
公 演 会 費	696	831	842	1,015
国 内 研 修 派 遣 費	572	1,105	744	738
海 外 研 修 派 遣 費	2,938	3,129	3,461	4,597
会 議 費	23	19	29	19
合 計	5,215	6,357	6,201	7,552

※ 組合員教育特別積立金の運用益を活用して実施しています。

2009年度 協同組合講座開催要領

(目 的)

協同組合の原点に立ち返り新たな協同組合運動を推し進めるため、新時代を切り開く幅広い視野に立ったJA運動のリーダー及び准組合員のJAに対する理解を深めると共に活動に参加しあえる組合員の養成することを目的とする。

(開催講座)

1. 組合員基礎講座	資格 准組合員及びその家族	人員 50人
2. 組合員講座	資格 組合員及びその家族	人員 58人
3. 専修講座	資格 組合員講座修了者	人員 35人

(開催内容)

1. 組合員基礎講座については、協同組合についての基礎的な学習に関するものやJAの事業などを理解してもらえよう企画、立案し進める。
2. 組合員講座については、協同組合についての基礎的な学習に関するものを2回行い、3回目以降は2コース(税金・農政・法律コース、健康・文化・環境コース)を受講者の選択によりコースを分けて開催する。具体的なカリキュラムについては講座修了者等の意見を参考に企画、立案し進める。なお、選択した別コースについても聴講できる。
3. 専修講座については、講座内容を絞り専門的に2年間開催する。具体的なカリキュラムについては講座受講者の意見を基に企画、立案し進める。
4. 学識経験者、特技者登録者制度の活用を図り、JAはだの独自の内容の充実に努める。

(開催時期) ※1回の開催時間は1時間30分程度とする。

1. 組合員基礎講座については1年間を期間とし、7回の講座(内1回は市内JA施設見学会等)、文化講演会の計8回とする。
2. 組合員講座については1年間を期間とし、6回の講座(内1回は視察研修)、開講式、文化講演会の計8回とする。
3. 専修講座については2年間を期間とし、12回の講座(内2回は視察研修)、開講式2回、文化講演会2回の計16回とする。
4. 必要により各講座共通の講座を開催する。

(受講者)

1. 組合員基礎講座は支所長推薦により選出。また、一般公募とする。
2. 組合員講座は生産組合・女性部組織より推薦及び支所長推薦により選出。また、若干名を公募とする。
3. 専修講座については、原則として組合員講座修了者からの公募とする。

(修了証書の交付)

組合長は、別に定める協同組合講座修了者基準を満たした受講者に対し修了証書を交付する。

(その他)

この要領に定めなき事項は、組合長が決定する。

協同組合講座修了基準

(組合員基礎講座)

年7回の講座、文化講演会合わせて8回の内、4回以上受講した者。

＊修了証書交付なし、記念品のみの対応とする。

(組合員講座)

年6回の講座、開講式、文化講演会合わせて8回の内、4回以上受講した者。

別コースを聴講した場合も受講回数に含める。

＊別コース聴講回数は修了基準には含めるが皆勤賞には含めない。

(専修講座)

年6回の講座、開講式、文化講演会合わせて2年間で16回の内、8回以上受講した者。

(皆勤賞)

組合員基礎講座、組合員講座、専修講座のそれぞれ全て受講した者に皆勤賞を交付する。

＊ 組合員講座の別コース聴講回数は皆勤賞に含めない。

＊ 組合員基礎講座は書面の交付なし、記念品のみの対応とする。

2009年度 組合員基礎講座

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
	6月25日(木) 10:00	7月24日(金) 13:30	8月17日(月) 13:30	9月5日(土) 13:30	9月17日(木) 13:30	10月14日(水) 8:30	11月11日(水) 13:30	12月9日(水) 10:00
組 合 員 基 礎 講 座	J A組織の興 りやJ Aはだ のの事業展開 など	J Aはだのの 事業概況につ いて	J Aの役割と 地域貢献につ いて	第17回文化 講演会 秦野市文化会 館 小ホール	「報徳」を広 めた安居院庄 七について	視察研修会 (1) 横浜港の輸 入農産物保 管状況につ いて (2) 農産物直売 所(JA さが みわいわい 市) 見学	健康福祉活動 への取組みに ついて	韓国文化にふ れよう 伝統的なおも ちゃ「チェギ」 作り
	代表理事組合 長 古谷茂男	常務理事 川上和明	組織教育課長 和田敬治	「北原流ツキ の10カ条」 北原照久	安居院庄七研 究会代表 相原豊久		生活福祉課長 山岸一彰 ケアマネージ ャー管理者 片倉真弓	組織教育課 白善任
	17名	17名	19名	10名	17名	23名		

2009年度組合員講座

受講者66名

	開 講 式	第1回(6月)	第2回(7月)		第3回(8月)	第4回(9月)	第5回(10月)	第6回(12月)	講 演 会	閉 講 式
組 合 員 講 座 6 6 名	5月21日(木) 13:30 講座内容説明 講演 「JAと私」 一協同の炎、永 遠に！— 食と農・環境ジ ャーナリスト 若槻 武行 氏	6月15日(月) 13:30 「JAはだのの 仕組み」 JA組織の起こ りやJAはだの の事業展開など について JAはだの 代表理事組合長 古谷 茂男	7月21日(火) 13:30 「組織リーダー の心得と役割」 JAグループ 教育センター 教育部長 山口 和利 氏	税金 ・ 農 政 ・ 法 律	8月17日(月) 19:00 「JA・農 業・農政等を めぐる課題に ついて」 JA県中央会 農政営農部 新藤 清次長 24名	9月24日(木) 19:00 「相続と遺言 について」 JA県信連 財務コンサル タント 奥田 昭道氏 21名	10月28(水) 7:50 視察研修会 東京都練馬区 農業体験農園 大泉「風のが っこう」 JA東京あお ば総合園芸セ ンター「ふれ あいの里」 20名	12月 19:00 「税金の基礎 知識」 JAはだの 嘱託税理士 横尾 稔氏	9月5日(土) 13:30 第17回 文化講演会 秦野市文化会 館小ホール 「北原流ツキ の10カ条」 ブリキのおも ちゃ館館長 北原 照久氏	2010年 1月 13:30 2月中旬 視察研修会 (1泊2日)
	52名	52名	45名	健康・文化・環境	8月6日(木) 13:30 「負けない身 体づくり」 JA県厚生連 保健福祉セン ター 田中 ヤス子保健師 25名	9月3日(木) 8:00 視察研修会 JA静岡厚生 連「清水厚生 病院」 農産物直売所 「大井川まん さいかん」 21名	10月6日(火) 13:30 「秦野の歴史 をのぞいてみ よう」 秦野市教育委 員会 櫛田 和幸氏 26名	12月4日(金) 13:30 「天然の水が めと私たちの 暮らし」 秦野市水道局 職員	44名	

2009・2010年度 専修講座開催内容

受講者43名

	2009年度開講式	第1回(6月)	第2回(7月)	第3回(8月)	第4回(9月)	第5回(10月)	第6回(12月)	講演会	
専修講座名	5月21日 講座内容説明 講演会 「JAと私」－協同 の炎、永遠に－ 食と農・環境ジャ ーナリスト 若槻 武行 氏 40名	6月10日(水) 19:00 「JAの事業内 容と今後の取 り組み」 JAはだの 専務理事 山口政雄 40名	7月9日(木) 13:20 視察研修 神奈川県農業 技術センター 「神奈川県の 農業技術の最 先端を研修」 42名	8月28日(金) 19:00 「自分のエネ ルギー量を知 ろう」 厚生連保健福 祉センター 保健師 田中ヤスコ 42名	9月24日(木) 19:00 「安全・安心な 農産物生産の 取り組み」 JA神奈川中 央会 青木考查役 35名	10月28日(木) 19:00 「知っておき たい相続と遺 言」 JAはだの嘱 託税理士 横尾 稔 38名	12月 19:00 「やさしい年 金のお話」 35名	9月5日(土) 13:30 第17回 文化講演会 秦野市文化会館 小ホール ブリキのおもち や博物館館長 北原照久 氏 35名	
	2010年度開講式	第7回(6月)	第8回(7月)	第9回(8月)	第10回(9月)	第11回(10月)	第12回(12月)	講演会	閉講式
	5月 13:30 講座内容説明 講演会	6月 19:00 「介護保険制 度の仕組みに ついて」	7月 19:00 「国民健康保 険・老人保健医 療について」	8月 19:00 食の安全性に 配慮した農 薬・肥料の利用 について	9月 視察研修	10月 19:00 「生活習慣病 予防と健康」	12月 19:00 「協同組合活 動について」	9月上旬 13:30 第18回 文化講演会 秦野市文化会館	2011年 1月 13:30 2月 1泊2日 視察研修 ※組合員講座と合同

